

富屋中学校跡



学校教育法に基づき、昭和22年4月に富屋村立富屋中学校が開校した。開校当時校舎はなく、富屋小学校南校舎や日輪舎を利用した。昭和24年に独立校舎が、現在の富屋小学校敷地内に完成した。

本校の入学者はほぼ富屋小学校の卒業生で占められ、学級数（3学年）は6、7学級であった。最多生徒数は昭和37年度の299名で、小規模校ではあったが、家庭的な雰囲気のある学校であった。

昭和38年に洋式庭園、同40年に和式庭園が造られ、同43年には栃木県学校環境緑化コンクールにおいて、最優秀賞の栄誉に輝いた。

昭和43年、市教育委員会から「適正規模化による教育効率の向上」の打診があり、検討の結果、篠井中学校との統合が決定。昭和45年3月、23年間続いた本校は歴史に幕を閉じた。卒業生総数は1883名。



富屋地区まちづくり連絡協議会 令和4年建立